

J R 総連通信

2022年4月15日 No.1544

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>

JR総連・JR西労

JR総連推薦議員懇談会・共同代表へ

「JR西日本における定期運転適性検査の実情について」陳情



JR総連とJR西労は4月14日、JR総連推薦議員懇談会共同代表に対して、JR西日本における定期運転適性検査の実情について陳情書を手交しました。

JR西日本では過去3年間、3支社に集中し、100名を超える乗務員が定期運転適性検査でSD判定（合格基準に達していない）となり、乗務員から配置転換となっています。この数字はJR他社比でも異常に突出しており、再検査についてもJR他社と異なることから、この間、労使議論に努めてきましたが、実態は一向に変わりませんでした。

職場では「なぜ急にSD判定が増えたのか、次は自分かも知れない」など、会社の不可解な実情に対して心理的に不安を覚える乗務員が増えています。会社に対して不安な気持ちを抱えながら乗務することは福知山線脱線事故の背景とも結びつくため、私たちは職場の声に基づき、少しでも不安を解消するために今回の陳情に至りました。

JR総連はこれからも職場の声に耳を傾け、取り組んでいきます！